

# お客様の利便性を追及して発展し続ける 無線 LAN 技術

## Continuous Development of Wireless LAN Technologies for Customer Satisfaction

わたくしたち人間は生まれながらにして移動手段(足)と無線通信手段(耳、口、目、そして表情など)を持っています。しかし、人間の通信に対する欲求はますます膨らんできました。電子機器の発達によってこれまでに遠距離の通信( Tele-communication )要求はかなり満たされるようになりました。これからは、人間と外界の接点が無線でつながっていくのが自然な流れと考えられます。すなわち、あらゆるものがネットワーク化され、ごく自然にいろいろな情報にアクセスできるユビキタス社会の実現が期待されております。この一翼を担うのが無線 LAN 技術です。

当初、無線 LAN は、有線 LAN のすき間を埋めるシステムと考えられていました。最近では、無線通信技術の進展や標準化による相互接続性の向上、及び利用環境の発展により、人間を取り巻く様々な情報通信機器への無線アクセス手段として、無線 LAN に大きな期待が寄せられています。

無線 LAN 自体は無線による接続と伝送のシステムですが、インターネットやモバイル機器の発展に伴って、その応用範囲が急速に拡大しています。オフィスではパソコン(PC)はもちろんのこと、プリンタなどの周辺機器への拡大、外にあっては公衆用アクセスポイントを通じてのノートPCや携帯情報端末(PDA)からの無線アクセス、家庭ではブロードバンドへの無線アクセスなどです。更に、伝送速度の高速化に伴って、テレビなどの各種AV機器の無線接続への応用も始まっています。また、近い将来には、移動時などのシームレスな無線アクセスにも応用が拡大すると期待しています。

このように無線 LAN の発展が期待される背景には、各国による世界的に利用可能な電波資源確保の努力、インターネットや有線 LAN と整合させつつ最新の無線伝送技術を取り込む継続的な標準化活動、そしてこれらの技術を具現化する LSI 技術の進展があります。

応用拡大のたびに新しい技術課題が生まれますが、東芝は、お客様に無線 LAN を便利にかつ安心してご利用いただけるよう、LSI や高周波部品、無線伝送、ネットワーク、セキュリティやシステムインテグレーションなどの分野で継続的に技術開発を推進しており、今回の特集ではこれらの一部を紹介させていただきます。ご一読いただければ幸いです。



菅原 勉  
SUGAWARA Tsutomu